

船釣りの作法

【連載】※月1連載

釣技
技食

其の二十

三浦半島・走水のビシアジ



釣り場は走水港の前一帯。午前、午後船で平日も多くの釣り人が訪れる定番の釣り

ときめきと妄想のコマセ釣り

今ではライトスタイルも広まっているアジ釣りだが、名物アジで知られる走水はオモリ130号を使う昔ながらの「ビシアジ」である。

理由は簡単。走水は読んで字のごとく潮が速く、水深40メートル以浅でも130号のビシカゴがフケ上げられることも珍しくないためだ。

重いビシ（オモリ）、それに見合った強度の道糸、竿、リールを使い、確実に底を把握して、コマセをまいて、魚を寄せてアタリを出させる。コマセ釣りの基本・原型と呼べる釣りがビシアジだ。

「コマセ釣りのいいところは、本来、だれもがそこそこ釣れることだと思えます。初めてでも何尾かは釣れて、それがとてもおいしいアジだったら素晴らしいですよ。潮が速くても釣りになると、道具も丈夫なビシアジは、大好きな釣りです」

アジからキハダまでコマセ釣りを知り尽くす松本圭一さんは、根強いビシアジファンである。

この日の釣り場は走水前の水深60〜80メートル。朝方は潮がやや速く、松本さんは素早い手返しで数をのぼす。一方、昼前に潮が緩んでからは時間を

走水のアジは大きくても脂の乗りがよく、大アジ、特大アジが珍重される



○松本圭一 淡水・海水を問わない無類の釣り好き。中でも船釣りには幅広く精通し、小型から大型魚まで様々なターゲットを追いかける。

タックルの作法

ビシアジ「にも」最適な
基本性能+充実の
多機能電動リールの
のすすめ



▲[タッチドライブスピードロック]
タッチドライブを押している間は巻き上げが加速し、離すと減速する機能。中間速を設定している場合はタッチドライブを押している間はMAXまで増速、離すと中間速に戻る。魚の引きや船の揺れに合わせた細かい巻き上げが可能



▲[フッキングモード]
静止または、さそい速からワンタッチで最高速まで加速させてフッキングさせる機能。跳ね上げアタリなど瞬時の巻き合わせが必要とされる場面や、竿先を上げた姿勢からワンハンドでの合わせを可能にする



▲[MUTEKIMOTOR+]
クイックレスポンスに優れたMUTEKIMOTOR+はタッチドライブとの組み合わせでより直感的な操作性を発揮。信頼の巻き上げ力と耐久性は速潮下で130号ビシンの楽々な手返しも快適にこなす

食の作法

走水のアジフライ

～湾口の速潮に育まれた極上アジの逸品～



脂の乗りと食感は格別、一度食べればまた釣りに行きたくなる



- ①今回はアジが大きいので三枚おろしに。薄力粉100グラム、卵Mサイズ2個、パン粉を準備
- ②薄力粉をまんべんなくまぶし、溶いた卵につけて
- ③パン粉をたっぷり付けたら
- ④揚げ油を熱し、パン粉がカラッと、アジに火が通るまでおよそ3分程度揚げる



「船釣りの作法」動画公開中。
YouTube SHIMANO TV
公式チャンネルにてご視聴いただけます。

▶[NEW フォールレバー]
仕掛けのフォールスピード調整のほか、ビシアジやコマセダイではビシを投入する際のバックラッシュ防止に非常に有効で使いやすい

[フォースマスター600]

◎「ビシアジ専用であればワンサイズ大きな電動リールをすすめますが、ビシアジも楽しんで、タチウオも楽しんで、コマセダイも楽しんで、近場の様々な釣りを楽しみたい方にはフォースマスター600を最適なリールとしておすすめします。私はビシアジではシンプルな設定で使っていますが、これは巻き上げ力とスピード、持ちやすさ、ハンドルの巻き心地やギア比、クラッチなど、基本性能が高いからこそ。多彩な機能はタチウオなど、船釣りの楽しさを広げる際に存分に楽しませてくれます。(松本圭一)
●SPEC ギア比=6.5、最大ドラグ力=10kg、自重490g、糸巻量PE=2号-300m、3号-200m、最大巻上長=67cm/ハンドル1回転、ハンドル長=65mm、実用巻上持久力=6kg、最大巻上速度=195m/分、本体価格=9万5200円



▲[深見丸スクリーン]
ビシアジでは底ダチを取ったときの水深の差から潮の速さを予測、コマセをまくインターバルやタナの微調整に役立てることができる。※深見丸搭載船で使用可能



▲[タッチドライブとSコンパクトボディ]
電源コードをハンドル側に配置、全高を抑えパミング性に優れたSコンパクトボディは、親指をずらすだけでタッチドライブの操作へ移行できる。タッチドライブの厚みや感触も細かい改良が加えられ、押した感覚が明確になっている

▲[手巻きハイギア化&ドラグ力UP]
タナ取りやコマセワーク、取り込みにおいてハンドル1回転あたり67センチのハイギア仕様はリズムカルに釣りができることに加え、巻いている時の感度もいいと松本さん。ドラグ力は安心の10キログラム

「仕掛けが短いビシアジは、コマセ釣りだけでなく船釣り入門にもおすすめです。そこを出発点に近場で色んな釣りを楽しみたいという方にとって、フォースマスター600は最初の1台に最適といえます」
また、コマセ釣りであれば、ウイリ



コマセを振るためにドラグをきつくするビシアジでは、巻き上げ速度の調整と竿の弾力でアジの口切れを防ぐ

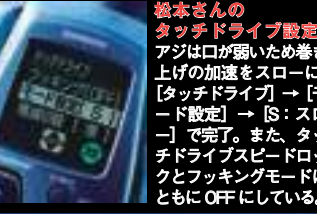


▲居着きと思われる黄色味がかったアジ



[フォースマスター600×ビシアジ]

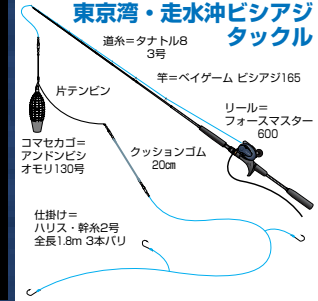
松本さんの中間速設定
ワンタッチで設定した速度へ到達、力の入れ過ぎによる不意の増速を防止するのが中間速設定。松本さんはビシアジでは[ファイト速]のみ12、[さそい速]はOFFで使用する。



松本さんのタッチドライブ設定
アジは口が弱いため巻き上げの加速をスローに[タッチドライブ]→[モード設定]→[S:スロー]で完了。また、タッチドライブスピードロックとフッキングモードはともにOFFにしている。



▲口の横、腹に掛かったアジは大きいほどその重さでバレやすい



[基本のコマセと探り]

タナを取る、コマセを振る、探る。
難しくないので、確認に。

- 1 着底したら底ダチを再確認して1メートル巻き上げる
- 2 2~3回コマセを振りつつ1メートル上げる
- 3 数秒待ったら竿先を下げてコマセの中に仕掛けを通すイメージで竿をゆっくりと上げて探る
※アタリがない場合は再び着底させて①~④、2セットで仕掛けを入れ替える
- 4

ビシアジの作法

かけて仕掛けをなじませて、ときに置き竿で釣っていく。
「潮が速いときはコマセがすぐ横に流されてアジも離れてしまおうと想像して、手返しを早くします。逆に潮が緩いときはコマセが下へ漂い沈んでいくと想像して、じっくり待ちます」
松本さんが使うタックルは小型軽量ながら十分なパワーとスピードを持つフォースマスター600と、ベイゲームビシアジ165の組み合わせ。
「仕掛けが短いビシアジは、コマセ釣りだけでなく船釣り入門にもおすすめです。そこを出発点に近場で色んな釣りを楽しみたいという方にとって、フォースマスター600は最初の1台に最適といえます」
また、コマセ釣りであれば、ウイリ



[ベイゲームビシアジ165]

◎速潮下でも130号ビシをブレずにしっかり振り抜くパワーと、大アジの口切れを防ぐクッション性を両立、手首の疲労を軽減するXシートエクストリームガングリップにより「ビシアジは重く疲れる」というイメージを覆す専用竿。

「コマセ釣りはイメージすることが多いのが魅力です。コマセがどう流れて、魚にどのように食わせるか、自分の仕
一五日やコマセダイへとステップアップしていくとき、ビシアジで覚えた基本が必ず役に立つと言う。コマセ釣りの面白さはもちろん、食も含め船釣りの扉を開けてくれるのが、ビシアジなのだ。
「コマセ釣りはイメージすることが多いのが魅力です。コマセがどう流れて、魚にどのように食わせるか、自分の仕